

令和 6 年度 第 3 回 南城市地域公共交通会議資料

令和 6 年度第 2 回交通会議議事要旨 (令和 6 年 8 月 30 日)

令和 7 年 2 月 18 日

南城市地域公共交通会議

1. 議事次第

令和6年度 第2回南城市地域公共交通会議

日時：令和6年8月30日（金）9：00～
場所：南城市役所1階大会議室

次 第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 委嘱状交付

4. 報 告

- (1) 令和6年度第1回会議（4/30開催）の議事報告について・・・資料①
- (2) Nバス及びおでかけなんじいの運営経費について・・・・・・資料②
- (3) モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）支援事業の採択について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料③

5. 議 事

- (1) わった～バス利用促進乗車体験事業（県事業）におけるNバス無料について・・・・・・・・・・・・・・・・資料④
- (2) 第5回南城市まつりにおけるNバス増便について・・・・資料⑤
- (3) 地域公共交通計画策定に向けた調査・検討の進め方について
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料⑥
- (4) 路線バス（東陽バス）の減便について・・・・資料⑦、資料⑧

配布資料一覧

- 資料①令和6年度第1回会議議事要旨
- 資料②Nバス及びおでかけなんじいの運営経費
- 資料③モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）支援事業の採択
- 資料④わった～バス利用促進乗車体験事業におけるNバス無料化
- 資料⑤第5回南城市まつりにおけるNバス増便
- 資料⑥地域公共交通計画策定に向けた調査・検討の進め方
- 資料⑦路線バス（東陽バス）の減便と再編計画の見直し
- 資料⑧路線バス（東陽バス）の減便内容

2.報告概要

2-1.令和6年度第2回会議（8/30開催）の議事報告について

質疑なし

2-2.Nバス及びおでかけなんじいの運営経費について

番号	委員	事務局
2-1	資料をHPに掲載するにあたって、収支の部分は市民にどのような印象を持たれるかを考慮して整理した方が良い。例えば南城市に住んでいる成人一人当たりの年間の負担額で示すことや、自家用車で移動をしていた場合と比べ温室効果ガス排出量がこれほど削減出来るといったデータを併せて提示したりすると良いのではないか。 (神谷副会長)	経費がかかっているという数字のみではなく、運行によって生じる効果についてもあわせて示すなど見せ方を工夫する。
2-2	Nバスのバス停オーナーについての詳細を説明頂きたい。 (大城委員)	バス停オーナー制度はバス停の名前に事業者名を入れることが出来る制度である。バスマップに掲載されるため広告宣伝効果がある。現在3社（沖縄メディカル病院、あかし内科クリニック、馬天自動車学校）の契約を頂いており、年間計36万円の収入がある。
2-3	バス停オーナー制度を利用して新しいバス停をつくることはあるのか。 (大城委員)	立地条件によっては、設置できないこともあるが、協力いただいている3社に関してはルート上問題のない場所だったため設置をしている。路線全体のメリットの中で折り合いがつけば設置することが可能である。

2-3.モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）支援事業の採択について

番号	委員	事務局
3-1	3年間かけてエコモ財団の取り組みを行うが、県教育庁保健体育科や教育センター、南城市教育委員会にはぜひ参加してもらい外部からの支援が無くとも自走できるような形にできればと思う。（神谷副会長）	自走化という点が課題であると認識している。佐敷小学校がモデルと決まった時には現場の先生がやる気があった。この現場の先生がいなくなったら時が気になっているため、補助金が無くとも自走が出来るような仲間づくりを進めていく旨を事務局とお話しした。県の方にもご協力いただければと思う。

2-4.南城市生活交通確保維持改善計画（案）について

番号	委員	事務局
4-1	P5の地域間幹線系統について教えてほしい。（屋宜委員）	複数市町村を跨ぐ路線で、国の補助制度を活用して運行しているバス路線になる。南城市では、50番系統、51番系統、82番系統の3路線が該当する。
4-2	P3事業の目標について、利用者数の目標値は、現況値より減っているが、どのような考え方か。（亀谷委員）	現況値は8時～20時台までの運行だったが、新しい計画では平日9時～17時台まで、休日は9時～16時台までと運行時間が短くなるため、1日あたりの利用者数は少なくなる。
4-3	南城市生活交通確保維持改善計画（案）について承認する。（委員全員）	—

3.議事概要

3-1.わった～バス利用促進乗車体験事業（県事業）におけるNバス無料について

番号	委員	事務局
1-1	人員の積み残しがあった場合には、その報告を吸い上げるような仕組みにしていただけたらと思う。 Nバスの場合は乗車人数のカウントはどのようにしているか。（神谷副会長）	現在タブレットを使用し、運転手に乗降者数をカウントしてもらっている。
1-2	わった～バス利用促進乗車体験事業の広報活動はどのように行われているのか。区長や自治会長の方から公民館などで周知してもらうといった方法もある。利用者が多すぎた場合は積み残しがある可能性があるため、周知体制がいかほどか気になった。 (平良委員代理)	県からポスターを事前にいただき、南城市的広報誌で8月から情報を掲載している。県でHPやチラシを出しているが、きめ細かい箇所にまで情報が行き届いていない可能性はある。 8月に南市のNバスのイベントで子供たちへのチラシを配布や、南城市役所のカフェで勉強している子に声掛けをするなど、呼びかけは行っている。
1-3	わった～バス利用促進乗車体験事業（県事業）におけるNバス無料についての案を承認する。（委員全員）	—

3-2. 第5回南城市まつりにおけるNバス増便について

番号	委員	事務局
2-1	コストコによる交通渋滞の影響が11月まで継続した場合、祭り当日はバスで行くことが難しくなると思われる。対策のイメージがある場合は教えていただきたい。 (平良委員代理)	コストコに関連した渋滞の発生時間帯は朝方から夕方頃になる。混雑状況を毎日確認しているが、コストコの公式の閉店時間の午後8時頃まで混雑していることはない。渋滞の波は予測が難しいが、状況を見ながら検討していきたい。
2-2	第5回南城市まつりにおけるNバス増便について承認する。 (委員全員)	—

3-3. 地域公共交通計画策定に向けた調査・検討の進め方について

番号	委員	事務局
3-1	糸満市では高校生向けアンケート票の裏面に保護者向けのアンケートを掲載し、登下校の交通手段を決めるにあたって誰が家庭の中で決める役割を果たしたか等の質問を設けている。南城市ではQRコードでの実施なので難しいかもしれないが、実際利用している保護者へのアンケートも実施してはいかがか。 (亀谷委員)	生徒へのアンケートに併せ、保護者の方の意見を回収できるような形で実施出来ないか検討させていただきたい。 現在アンケートチラシの方には、Nバスの運行図や時刻表を掲載しながらNバスのPRをしたいと考えている。 ⇒小中高生アンケートで、送迎の実態や高校生に対して進学先の選択において、重視した点などを把握（資料④参照）
3-2	小中高校生のアンケートに際し、学校側が生徒に登下校に関してどのような案内・指示をしているのかの回答を頂きたいたい。ある高校では登下校時には学校裏の生活道路で送迎をするようにと、交通安全を無視した誘導の実態があるため、学校の状況もヒアリングしていただけたらと思う。 (神谷副会長)	学校の指導状況の把握方法について検討する。 ⇒小中高生アンケートで登下校に関する学校の指示の実態について把握（資料④参照）
3-3	コストコの従業員は現在南城市役所の駐車場を利用しているが、駐車場からコストコまではどのようにして移動しているのか。 (神谷副会長)	オープンから一週間程度、混雑する間は南城市役所の駐車場をコストコが南城市から借り、往復でバスを出している状況である。従業員がこちらの駐車場を活用して出勤するようであれば、南城市としてはNバスの活用などが出来ないかと考えている。現在実施予定

番号	委員	事務局
		はないが、他にも出来ることはないか検討していく。
3-4	人流データでは何を扱うつもりなのか。南城市民だけに限定したものなのか、南城市民以外に限定したものなのか等想定しているものがあれば教えていただきたい。 (神谷副会長)	今年度より観光交通というテーマで観光商工課と議論を始めている。今後は人流データを取得し、観光客の移動も含め交通にどういった課題があるかの分析を検討している。 あわせてパーソントリップ調査データについて、都市計画課や県に情報提供できないか依頼をしている。データの詳細をどこまで出せるのかは考えつつ、他にも活用できるデータがないかを探っていきたい。 ⇒今年度は観光商工課でデータ取得を行わないことになったため、次年度の分析を予定している（資料②参照）
3-5	今後に向けておでかけなんじいのゾーン化を考えるか否かをうかがいたい。現状の利用状況を見た時に、エリアを縮小した際の影響が小さいゾーン分けが可能か否かの分析は出来ないか。 (神谷副会長)	昨年度運行時間帯を検討するため分析した際、知念地域から佐敷の津波古に移動する方が大多数であった。一方で知念から玉城・大里の医療機関を目的に移動する方もいるため、ゾーンで分けるとそれらの移動が困難になることが予想される。人の動きを調査しながら検討していきたい。
3-6	市民アンケートの回収目標の25%は低い数字に感じるが、前回を踏まえてその数字が出たのか等あれば伺いたい。 (喜屋武委員)	回収率に関しては確実な回収数を目安としているため、低く設定しており、最低ラインとしてみていただければと思う。前回区長を通して配布した際の回収率は40%を超えており、今回も25%よりは高くなると思われる。また、アンケートの配布票数についても3,000票への増加を検討している。
3-7	市民アンケートの把握項目の中の運転免許の項目で枠があれば、返納時の年齢等を含めた免許返納者の実態の把握できるのではないか。 (喜屋武委員)	南城市的Nバス運賃支援事業を実施している。昨年の6月からこの事業を実施し一年が経過したため、効果検証のアンケートを実施する予定である。運賃支援の利用者の大半は高齢者のため、免許返納に関する質問を設け、クロス集計をしながら出来る限りの数値を把握できるよう調整したい。
3-8	小中高生のアンケートはQRコードで実施とのことだが、なぜ市民アンケートはQRコードで実施しないのか。自治会	73の自治会の中には大きい自治会もあれば小さい自治会もある。人口の多い自治会については配布票数を増やす予定である。区長

番号	委員	事務局
	<p>長は65歳以上だと思っているが、仲間に内に30部配る可能性がある。QRコードでやると偏りがなくなるのではないかと思う。</p> <p>(屋宜委員)</p>	<p>にはバランスよく配布するよう強く依頼する予定である。</p> <p>QRコードは市民アンケートで予定していなかったが、事務上の調整をしたうえでQRコードでの回答が出来るよう検討したい。</p> <p>⇒市民アンケートもQR併用で実施</p>
3-9	<p>保育園の送迎においても問題もあると思う。例をあげると、子どもを大里地区の保育園に預けて出勤するという方もいると思うが、預けた後は公共交通を使って那覇などの他地区には行けない時間帯になる。保育園利用をする方の人流も把握した方が良いのではと思う。</p> <p>(屋宜委員)</p>	<p>公共交通はそれぞれの生活の実態に合わせ活用することが基本だと思うため、想定しているようには使えないケースもあると考えている。すべてには対応できないが、拾えるニーズがあるのか、対応できるかを含め、出来る範囲でデータ収集と事業者の協力を得ながら検討していきたい。</p>
3-10	<p>地域公共交通計画策定に向けた調査・検討の進め方について承認する。</p> <p>(委員全員)</p>	—

3-4.路線バス（東陽バス）の減便について

番号	委員	事務局
4-1	<p>運転手の辞職が分かった時点で、沖縄総合事務局だけでなく南城市にも減便の可能性がある旨の情報の共有をしていただけとありがたい。出来るだけ事務的な手続きは早めに進めたいと思うが、情報の連携をお願いする。</p> <p>(亀谷委員)</p>	<p>昨年から南城市に関わる路線の減便が続いているが、早々の情報共有で路線バスとNバスとの結節でダイヤの調整等を実施し、影響が少なく出来れば公共交通離れへの影響を小さくなるのではと思う。</p> <p>今後も事業者の中で路線バス減便の可能性が出てきた場合には、南城市にも情報の共有をしていただければと思う。</p>
4-2	<p>路線バス（東陽バス）の減便について承認する。</p> <p>(委員全員)</p>	—

3-5.その他（コストコが開業してからのコミュニティバスの状況等）

番号	委員	事務局
5-1	コストコ開業に合わせて行った交通対策などあるか。 (屋宜委員)	コストコのオープン後の大渋滞を受けて、月曜日にコストコに対し、車両の滞留を解消する改善施策の提案を要望し、市からも協力できるよう調整を進めている。コストコ周辺の集落やつきしろ方面の市民、企業の方の苦情もあり、それらも踏まえ慢性的な滞留をどのように改善していくか引き続きコストコと協議を進めると担当部署からははうかがっている。
5-2	開業前から混雑は想定されていたと思うが、コストコ側から役所に対して何か事前にアクションがあったのか確認したい。 (慶田委員)	市とコストコでオープン前に交通対策会議を複数回開催している。 (事務局) 誘致当初に供用が予定されていた高規格道路（南部東道路）が間に合わず、結果的にオープン後に大渋滞となった。この事態を市としては重く受け止め、月曜日には臨時庁議を開き、コストコに対して行政指導を行う手続きを進めている。 コストコとは定期的に担当部署と調整をして色々とご提案をさせていただいている。 一つの方法として、南城市役所の駐車場を借り、滞留している車両を一時的に誘導してコストコの駐車場が空き次第誘導するような仕組みがとれないと相談・調整している。チャーリーレストランからコストコの間は路肩が広いため、那覇からコストコまでの道の2車線化を県に要請する検討をしている。今後の渋滞状況を見てコストコと連携し対策をしたいと思っている。（當眞会長）

番号	委員	事務局
5-3	<p>コストコは事業者として車を並ばせない責任がある。周りの住民の生活に影響を及ぼすという事業の仕方は間違っていると、声を出しても良い。一旦市役所の駐車場を利用して待機をさせ、駐車場に空きが出たら誘導をするという提案を市から提案しているにも関わらず、コストコ側からは特に対応が無い事は報道されても良いと私は考えている。Nバスの欠便が少なくなったため改善されていっているということではなく、欠便があること自体がおかしいということを認識した方が良い。</p> <p>減便という話を含め、ドラスティックに運転手が増えるということは実現が難しい。そういう中で県の地域公共交通計画で路線バスは、この軸に関しては最低限この程度のサービスレベルを確保する、可能であればこのレベルまで増やすといった軸を描く必要がある。南部全体での供給の調整が出来る材料を県全体として持つておくといったことが南城市としては大事になってくる。最低限のサービスレベルを公表し、確保の約束をしてそれぞれコミュニケーションをとっていくべきである。</p> <p>(神谷副会長)</p>	